



【戦評シート】女子決勝

平成28年11月20日(日)	協会名： 秋田県 バスケットボール協会
場 所：CNAアリーナ Aコート	記入者：佐藤 潤・根市 総
チームA 十文字 56	チームB 天王 37

スターター	チームA： #5, #6, #7, #8, #9
	チームB： #4, #5, #9, #10, #12
ディフェンス (試合開始時)	チームA： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()
	チームB： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()

女子決勝は5年ぶりの優勝を狙う十文字と、初優勝を狙う天王との戦いとなった。

第1ピリオド、十文字はハーフコートマンツーマン、天王はオールコートマンツーマンでスタート。両チームともに動きに固さが見られる立ち上がりだったが、先制したのは天王#5がドライブから得点する。#5を中心に攻撃を組み立て、#10の3Pなどで加点していく。一方の十文字は#8、#9のローポストでの1対1や、#5の速攻などで得点を重ね、一進一退の攻防が続いたが16-12と十文字がリードして第1ピリオドを終えた。

第2ピリオド、流れを掴んだのは十文字。積極的なオフェンスリバウンドで得たセカンドチャンスで、#7のドライブなどで着実にものにしてリードを広げていく。一方の天王も果敢にゴールを攻めるもののシュートが決まらず、苦しい展開を強いられる。7点差となった残り1分、天王がタイムアウトを請求し立て直しを図るが、十文字の勢いを止められない。結局29-16の13点差で前半を終える。

第3ピリオド、十文字は、激しく、しつこくリバウンドとルーズボールに食らいつき、#7のミドルショットや#6のドライブなどで得点し、試合の流れを渡さない。後半開始から3分間得点がなかった天王だが、#5がドライブから得点するとボールが回り始め、シュートチャンスも増えていく。しかし、点差は縮まらず、19点差となった残り3分23秒、天王はタイムアウトを請求。ここからボールが回り始めると#10のバスケットカウント、#9のドライブなどで得点し、追い上げるが41-28と13点差のまま、第3ピリオドを終えた。

最終第4ピリオド、疲れが見える天王は開始から3分間得点ができず、タイムアウトを請求する。しかし、その後も十文字#6の3Pをはじめとする多彩な攻撃を止めることができず、苦しい試合運びとなる。最大27点差となった残り3分、天王は最後のタイムアウトを請求した後、連続得点で意地を見せるが反撃もここまで。最後は56-37で十文字が5年ぶりの秋季大会優勝を飾った。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。